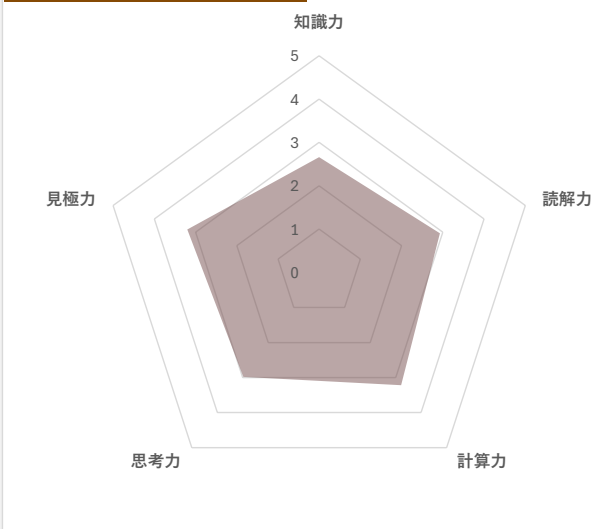


総合分析

試験区分 一般

制限時間 50分(理科2科100分) 大問数 全4問

合格に要する能力 (5段階)



出題分野

理論	73%
無機	0%
有機	27%

本年度出題テーマ一覧

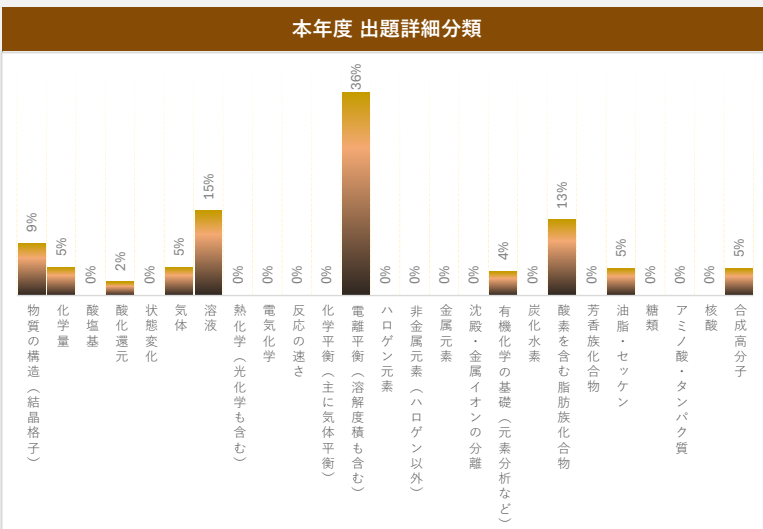
第1問	小問集合(14族, 異性体, 脱水)
第2問	理論化学小問集合(結晶, 沸点上昇, 気体, 冷却曲線)
第3問	カルボン酸
第4問	水酸化物の沈殿

本年度 解答形式

選択肢 100%

合格に要する能力 (5段階)

知識力	2.5	物質, 反応, 解法の知識
読解力	2.7	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	3.0	手際よく正確に計算できるか
思考力	2.8	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	3.0	解きやすい問題を選択する力



特殊問題の有無 数値計算あり グラフあり 正誤問題あり 理由記述なし 図表あり

特記事項 特になし

総合評価

難度	2.8	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率(予想)	71%
分量	45分	完答に要する時間(制限時間は50分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る大学が求める学生像 比較的平易な問題をきちんと取りこぼさないことが求められている。マニアックな知識問題もほぼないので、バランスの取れた演習ができていることが前提となっている。また割り切れる計算や工夫次第ではやくできる計算が多いので、計算問題についても素早くミスなく解くことが求められている。